

平成21年5月24日

GHQ プログラム部活動支援係

「活動奨励賞の活用について」

今県大会においては参加スカウトの自主参加活動を奨励するため活動奨励賞を設定します。
以下の説明に基づき、運用していただけるようお願いします。

(1) アウループライズ

期間中積極的に活動に参加し、プログラムを効果的に実施するため、「OWL-PRIZE (アウループライズ)」を設け、以下の8つのキーワードに沿った活動目標に取り組みます。活動目標の認定は、参加隊の隊長が行います。

キーワード		活動の目標・内容
O	Own (スカウト精神)	ちかい・おきて、スカウト精神に関すること
W	Wide (交流)	スカウト同士の交流、友情に関すること
L	Life (野営生活)	野営生活全般に関すること
P	Patrol (班活動)	班活動に関すること
R	Religion (信仰)	信仰に関すること
I	Invention (創意工夫)	自己の成長に関すること
Z	Zone (地域)	野営場及びその周辺地域に関すること
E	Ecology (環境)	環境保護や自然観察に関すること

キーワードごとに6つの活動目標を設定し、それぞれの難易度ごとにポイントの数を設定しています。スカウトがクリアしたと認めたら、プログラムガイドブックをチェックし、パスポート（あらかじめ参加賞として配布される革材）に刻印でマークをつけてあげてください。（具体的な取り扱いは別紙指導者向けガイドのとおり）

なお、各キーワードの6番目は、隊の独自性を持たせるため、隊ごとに設定することとしました。隊の伝統や隊長の活動方針等を加味して設定してください。

(2) アクティブトゥループ

今回、参加した隊を対象に、県大会のプログラムに積極的に参加して活動されたと認められる隊には、「ACTIVE-TROOP (アクティブトゥループ)」の称号を与え、これを表彰します。

今回、参加した隊が数々の困難を克服し、今後のスカウティングにも、その精神が発揮されるよう期待を込めた称号です。認定はSHQが行い、大会長の名を持って授与されます。

また、混成で参加される隊においても、それを組織する原隊ごとに授与することとします。

なお、閉会式において、各SCから選出されたベストアクティブトゥループの表彰を行います。これは、そのSCで最も積極的に活動したと認められる隊を閉会式の場で紹介するものです。

選考はSHQが行いますが、その基準についてはGHQが目安を提示したいと考えています。

【指導者向けガイド】

《アウルプライズについて》

前回大会で実施しましたが今大会でもアウルプライズという課題を設定します。課題として設定された活動目標についてスカウトたちが意欲的に活動し、またその成果をみなさん指導者に認定されることを通してこのプログラムを楽しんでもらえるかどうかは、指導者であるみなさんの手腕にかかっています。ご協力よろしくお願いいたします。

さて、以下にアウルプライズの活動目標達成の認定に関するヒントをまとめさせていただきますので参考にいただけると幸いです。

- 活動目標は8個のキーワードにそれぞれ6個設定されるようになっていきます。このなかで(6)は、ブランクになっていきますが各隊隊長が目標を最初に設定してください。獲得できるポイントは1点とします。
- 活動目標について達成したとスカウトが申請してきた際に、参加賞として配布される革材に各隊に右端の欄に記載されている白星の数だけ配布される刻印でマークをつけてあげてください。また、ぜひその際にその活動項目をどのように達成したのか、難しかったか、など聞いてあげていただくと良いかと思います。
- 活動目標は繰り返し取り組むことも認めますが、スカウトには多くの活動目標について取り組むように指導してあげてください。
- また、活動目標の記載に【 】かっこで囲われた部分に該当することが達成できた場合は特に頑張ったということで黒星の数も含めて刻印してあげてください。
- 各活動目標について何をしたら認めるかという認定基準の目安を以下にまとめてみましたので参考にしてください。

キーワード			活動目標と認定基準の目安	ポイント
O	Own	スカウト精神	(1)大会中にスカウトソングを5種類以上歌う。 [この目標は班のメンバーの前で知っているスカウトソングを5曲歌ったと班の他のメンバーが認めたら認定してあげてください。]	☆
			(2)班で奉仕活動を見つけて行う。 [テントの中の整理整頓を進んで実施したなど、他の班員のために自発的に何か仕事をしたということを班長あるいは他の班員が認めたときに認定してあげてください。]	☆
			(3)隊ナイトでちかいやおきてについての話を聞く。[話をする] [隊長がセレモニーや夜話などでちかいやおきてについて話をした場合にはそれを聞いていたスカウトには認定してあげてください。また、スカウトに同様の話をする機会を作っておいていただき、その際には3つのマークを刻印してあげてください]	☆☆☆
			(4)SCやGHQの奉仕活動に参加する。 [スカウトが奉仕活動に参加したときに認定してあげてください]	☆☆
			(5)日々の善行を行う。 [スカウトが「今日小さい子が道に迷っていたので目的地まで連れて行ってあげたよ」などということを報告してきたら認定してあげてください。]	☆☆
W	Wide	交流	(1)SCナイトに参加し、他の隊のスカウトにサインをもらう。 [スカウト同士が名前・住所の交換をしてきたら認定してあげてください。プログラムガイドブックの「交換サインページ」を活用させてください。また、大会終了後に文通することなどをアドバイスしてあげてください。]	☆
			(2)スカウト情報ベースに情報を提供する。 [大会期間中スカウト情報ベースとして掲示板が設置されます。GHQには画用紙も用意しますので班のユニークな自己紹介などを書いて提出させるようにしてください。]	☆
			(3)外国のスカウトやリーダーと話をする。 [海外から来たスカウトと相手国の言葉や英語、あるいは手振り身振りで挨拶出来たとスカウトが報告してきたら認定してあげてください。ぜひ、韓国コーナーを活用してください。]	☆☆

			(4)スキル・オ・ラマに参加する。[出展する] [大会期間中スキル・オ・ラマが開催されます。そのプログラムに参加したスカウトに1ポイント、スキル・オ・ラマのプログラム提供者として活動したスカウトには3ポイント刻印してあげてください。]	☆☆☆
			(5)他の地区やSCの隊と交流を行う。 [この活動目標はスカウトが交流プログラムに参加した場合に認定してあげてください。大会4日目に予定されているSCナイトを活用することも良いと思います。]	☆☆
L	Life	野営生活	(1)国旗の掲揚や降納を行う。 [規則正しい野営生活を行うためにも、国旗の掲揚や降納は大切なはじめです。掲揚手等を担当した場合に認めてあげてください。なお、なるべく多くのスカウトが体験できるよう配慮してください。]	☆☆
			(2)隊で決められた起床と消灯の時間をきちんと守る。 [前夜に消灯時間に寝て、時間通りに起床して朝の活動を始めた場合に認定してあげてください。]	☆
			(3)シャワーを浴びるか体を拭き清潔を保つ。 [場外プログラムでプールに入った場合や、温泉に入る場合とは別に、会場内で一日の汗やほこりをシャワーや水で落としたときに認定してください。]	☆
			(4)班の炊事係として、料理を作る。 [班員のために中心となって調理をしたと、班長あるいは他の班員が認めたときに認定してあげてください]	☆☆
			(5)朝の点検で、隊長にほめられる。 [例えば朝の点検の際に、整理整頓が良いとか。清掃がしかりってきたとか、声が大きいとか何か良いところを見つけてほめることで認定してあげてください。]	☆
P	Patrol	班活動	(1)班の中の役割を行っていることを認めてもらう。 [一日の反省で班長あるいは他の班員が認めたと申告してきた場合に認めてあげてください。]	☆
			(2)班対抗ゲームに参加する。 [場内プログラムのスカウトリンピックを想定していますが、モーニングゲーム等でも結構です。参加した際に認定してあげてください。]	☆
			(3)他の班員に歌を教える [一緒に歌うだけではなく班員の誰かが知らない歌を教えてあげたというときに認定してあげてください。]	☆
			(4)自分がゲームを主導して実施する。 [班メンバーでゲームを主導して実施したと報告してきたときに何をやったのか、申告者は審判など、どういう役割をしたのかを聞いてあげてください。]	☆☆
			(5)班の仲間が困っていることを助ける。 [個人装備の整理に困っているスカウトを助けたということでも良いので何を困っていたのか、それをどのように助けたのか聞いてあげて認定してください。]	☆☆
R	Religion	信仰	(1) 毎日の「みことば」をプログラムガイドブックに書く。 [スカウトが毎日信仰の森に書かれた「みことば」をプログラムガイドブックの「みことばページ」に記入してきたら認めてあげてください。また、その際にその「みことば」からスカウトがどのように感じたかを聞いてあげると良いと思います。]	☆☆
			(2)隊及び班で行うスカウトタウンに参加する。[主な役割を果たす] [スカウトタウンを実施した際に参加したスカウトに対して認定してあげてください。また、その運営を手伝ったスカウトには3ポイントの刻印を押してあげてください。]	☆☆☆

			(3)信仰の森の行事に参加する。 [信仰の森で信仰奨励プログラムが行われています。スカウトがそれに参加してきたときに認定してあげてください。どんな話があったかなど聞いてあげていただくと良いと思います。] (4)毎回の食事時に「いただきます、ごちそうさま」を言う。 [あたりまえのことですが、毎食感謝の念を持って食事をするよう指導してください。朝、昼、晩の食事で励行できたと申告してきたら認めてあげてください。] (5)朝晩に各自のやり方で感謝のお祈りをする。 [隊のスカウトタウンや宗教儀礼以外に、一人で朝起きた時や寝る前に大会に参加させてもらった保護者などに感謝のお祈りをしたと申告してきたスカウトに刻印をしてあげて下さい。]	☆☆
			(1)献立を自分たちで考える。 [今回の県大会は、配給する食材をもとに自分たちで献立を考えることとなっています。班での話し合いに参画してきたスカウトに刻印をしてあげて下さい。] (2)班生活が楽しくなる道具を自然の材料で作上げる。 [現地にあるものを利用して、生活が便利になったり楽しくなるようなものができたと申告してきたスカウトに刻印をしてあげてください。例えば、木とひもで作ったハンガーや木を削ってチーフリングを作ったり、遊びの道具でも構いません。] (3)パイオニアリングを自分たちで考えて製作する。 [場外プログラムのパイオニアリングやイカダづくりに参加することを想定していますが、班、あるいは隊で独自プログラムを展開して簡単な信号塔などを作るということでも良いと思います。] (4)自分たちで考えた班サイトの改善を隊長に認めてもらう。 [日々の改善を実践するよう、毎日班サイトを見直し改善させる習慣をつけさせてください。点検時に改善点を報告させる等して認定してあげてください。] (5)今まで体験したことのないことに挑戦する。 [県大会は今まで行ってきた活動を試す場であると同時に、新しいことに挑戦する場でもあります。県大会でしか体験できないような変わったプログラムもたくさんありますので、スカウトにどしどし体験させ報告させてください]	☆☆
I	Invention	創意工夫	(1)地域の人に会ったときにあいさつをする。 [場外プログラムから帰ってきたスカウトに地域の人と挨拶したり、話をしたりしなかったか、どんな話をしたのか聞いてあげてそのときに刻印してあげてください。] (2)吉川野営場付近の史跡等を訪ねる。 [場外プログラムあるいは、班・隊で場外の近場の史跡・お寺などに行くと報告してきたら認めてあげてください。] (3)地域の生活や文化に関する資料、パンフレットを入手する。 [場外プログラムに出かけたときや場内でも管理棟に備えられている地域紹介のパンフレットを入手してきたら認めてあげてください。] (4)大会の様子を手紙で知人に知らせる。 [レターフロム吉川ということで大会本部に特設郵便局ができます。そこから友人や保護者に大会の様子を書いた手紙を出したときに認めてあげてください。] (5)会場のどこに何があるかを調べ、道案内する [一般の来場者や地域の関係者あるいは訪問に来たビーバー、カブを道案内することを想定しています。隊の関係者でも良いと思いますので、プログラムガイドブックなどを見て、正しく案内できたとときに認めてあげてください。]	☆☆
Z	Zone	地域	(1)地域の人に会ったときにあいさつをする。 [場外プログラムから帰ってきたスカウトに地域の人と挨拶したり、話をしたりしなかったか、どんな話をしたのか聞いてあげてそのときに刻印してあげてください。] (2)吉川野営場付近の史跡等を訪ねる。 [場外プログラムあるいは、班・隊で場外の近場の史跡・お寺などに行くと報告してきたら認めてあげてください。] (3)地域の生活や文化に関する資料、パンフレットを入手する。 [場外プログラムに出かけたときや場内でも管理棟に備えられている地域紹介のパンフレットを入手してきたら認めてあげてください。] (4)大会の様子を手紙で知人に知らせる。 [レターフロム吉川ということで大会本部に特設郵便局ができます。そこから友人や保護者に大会の様子を書いた手紙を出したときに認めてあげてください。] (5)会場のどこに何があるかを調べ、道案内する [一般の来場者や地域の関係者あるいは訪問に来たビーバー、カブを道案内することを想定しています。隊の関係者でも良いと思いますので、プログラムガイドブックなどを見て、正しく案内できたとときに認めてあげてください。]	☆☆

E	ecolozy	環境	(1)シャワーの時の使用水量やシャンプー等を節約する。 [実際にシャワーを使ったときにどんな工夫をして節約したかを聞いてあげてなるほどと思ったときに刻印してあげてください。]	☆
			(2)班生活で発生するゴミを分別回収して衛生的に処理する。 [ゴミの分別回収や生ゴミの処理方法を観察し、きちんと実践していると報告してきたときに刻印してあげてください。]	☆
			(3)自然観察のプログラムに参加する。 [場外プログラムの水質調査プロジェクトや県民の森トレッキングに参加することを想定していますが、その他の選択プログラムで参加したスカウトの話を聞き、自然観察の要素が少しでもあれば認定して良いと思います。また、班で独自に自然観察のプログラムを実施して報告してきたときにも認めてあげてください。]	☆
			(4)炊事排水等の汚水を適切に処理する。 [内容物などをきちんと取り除いて処理できているか、処理状況を見て認定してあげてください。]	☆☆
			(5)SC 内のゴミ拾いや清掃を行う。 [スカウト立ちの自発活動によって行われることを期待します。ゴミ拾いを実践しているスカウトを認定してあげてください。できれば、環境美化が習慣となるよう指導ください。]	☆☆

活動奨励賞(表面)



活動獎勵賞(裏面)

<u>OWL PRIZE</u>	
Own	★★★★★★★★★★
Wide	★
Life	
Patrol	★★
Religion	
Invention	
Zone	
Ecology	

活動奨励賞(ペンシルケースにした形)

